

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北九州市を中心とした福岡県及び山口県その周辺地域の産業発展に貢献しています

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL:093-873-1453 FAX:093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.47

2026年 夏号

第24回通常総会の冒頭挨拶

会長 吉田 剛



第24回通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多用の中、総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。会員・関係者の皆様には平素からNPO法人北九州テクノサポートの活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、2025年度の日本経済は、物価上昇・賃上げ・金利正常化が同時に進む転換期となりました。長年続いたデフレからインフレと賃金上昇の経済へ移行しつつあります。設備投資が堅調でインバウンド需要が回復し半導体・AI関連投資が拡大、円安による輸出企業の利益が改善されました。また、九州経済は「TSMCを中心とする半導体特需」と「GX(脱炭素)投資」が牽引し、北九州市では洋上風力・電炉化・物流強化による産業転換が進んだ一年でした。当法人は、この中で地元中小企業の活性化を支援する活動を進めました。EA21地域事務局環境未来は、新規の実施事業者が12件の増加に転じる成果を得ております。

SII省エネ診断事業は2年目を迎え、受診先を拡大すべくEA21実施企業向けセミナー等を開催し進めました。出展社と地場企業のビジネスマッチングは新メンバーも加え活発に活動し、7千万円を超える商談がありました。インターシップ幹旋事業は就職事情の変化で、地場企業の魅力の掘り起しが益々大事になっています。プロジェクトは3年目の鋼材焼入変形の矯正を自動化するロボット導入事業は本年が正念場です。IT活用支援グループは北九州市都市整備局公園管理課より「アンケート調査分析」業務を請け、IT技術の専門家が対応しご期待に沿う成果が得られました。よろず相談は5件あり、臭いを処理する技術の拡販支援や北九州市の施設で休業中の「あじさいの湯再開に向けた活動」では地元の再開を望む方々の組織立上げや施設再開に向けた調査に協力する活動を進めています。

結びになりますが、本日ご臨席の皆様方のご健勝と会員の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 2026年度 北九州テクノサポート通常総会開催

2026年度総会(第24回通常総会)が6月16日(火)、北九州市立商工貿易会館5階501会議室において開催されました。開始に先立ち、会長挨拶に続いて事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(吉田会長)により議事が進められました。以下の3議案が提案され、審議の結果、各議案とも了承・可決されました。なお、本総会に引き続き「特別講演会」は会員に加え各界からのご参加を得て実施されました。

◇ 2025年度事業報告(事業総括) ◇

2025年度の日本経済は、物価上昇・賃上げ・金利正常化が同時に進む転換期となりました。長年続いたデフレ的な環境から、インフレと賃金上昇を前提とした経済へ移行しつつあります。企業の設備投資が堅調でインバウンド需要が回復し半導体・AI関連投資が拡大、円安による輸出企業の利益が改善されました。

一方、2025年度の九州経済は「TSMCを中心とする半導体特需」と「GX(脱炭素)投資」が牽引し、北九州市では洋上風力・電炉化・物流強化による産業転換が進んだ一年でした。NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、これら経済変動の影響を受けながらも地元中小企業の活性化を支援する活動を進めました。

主力のEA21の活動は、全国的に停滞気味なところですが、新規の実施事業者が12件の増加に転じる成果を得ております。また、一昨年から始めた省エネ診断事業は2年目を迎え、受診先を拡大すべくEA21実施企業向けのセミナー等を開催し努力しましたが実施企業は6社と低迷し、課題が残りました。新年度はこれらの反省を糧に引き続き実施団体として事業を進めて参ります。展示会(課題解決EXPO)におけるビジネスマッチング事業は、前年度に比べ多少減少し、商談件数26件・商談額7,246万円の成果が得られました。インターシップ事業は受入れ登録企業80社を目指しましたが、59社の登録に留まりました。よろず相談は5件あり、その中でも悩みの「臭いを処理する技術」の拡販支援や「休業中のあじさいの湯の再開」に向けた活動組織の立上げへの協力等に力を入れ継続しています。

IT活用支援グループでは、北九州市都市整備局公園管理課より依頼のあったアンケート調査の分析にIT技術の専門家が対応し、期待に沿う成果が得られました。

KTSは、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用支援グループが整備したオンライン会議ツールTeamsとZoomなどを駆使しながら、勉強会等で新技術習得や相互理解を深め、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開しました。

⇒(各支援Gr.活動報告は2ページ以降に掲載)

◇ 2026年度事業計画(基本方針) ◇

2026年度の日本経済は、緩やかな成長が予測されるものの、海外経済の減速や通商政策の影響が懸念材料となっています。日銀の見通しでは、消費者物価指数(CPI)の伸び率は2%台後半で推移し、経済は下振れ、物価は上振れリスクが大きい可能性があるとされています。また、九州経済調査協会は、2026年度の九州の実質GRP成長率を+1.1%と予測しています。全国平均+0.8%を上回る見通しで、賃金引上げ、物価上昇鈍化、家計支援策による民間消費の回復が見込まれています。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、昨年度に引き続き情報共有を進め、本年度も事務作業の自動化に取組み業務の効率化を進めて参ります。

また、受託事業は、昨年から引き続き ①SII省エネルギー診断拡充事業、②鉄道レール部品製造工程自動化FS事業や、③インターシップのコーディネート事業は、新メンバーを入れながら受入企業の登録支援を進めます。④展示会のビジネスマッチングは、製造技術イノベーション、中小企業テクノフェア、DX推進フェアにエコテクノを加えた「課題解決EXPO2026」が7月上旬に同時開催予定であり、コーディネーター間の連携を取りながら準備を進めています。⑤EA21地域事務局は「環境未来」として7年目となりますが、当法人の強みである省エネ診断グループと連携を取りながら中小企業にとって効果の上がる脱炭素社会に向けたGX力アップに力を注ぐ計画です。

KTS全体としての対応方針は、「お困りごと」のある企業をこまめに探し、その課題解決にグループ横断で協力して対応し、その企業の成長を支援し、地域の一層の発展に貢献することを目指します。組織的には定年年齢の引き上げに伴って高齢化が進んでいますが、企業OBとして豊富な経験・知識・人脈を持ち、社会貢献活動に意欲のある人材を仲間と呼び込み、その力を活かし地域の他の組織と連携や協業を進め、実働部隊・つなぎ役として地域産業を下支えする活動を促進する計画です。

⇒(実施計画は6ページに記載)

(以上の事業総括及び基本方針は、KTSホームページでもご覧いただけます。)

◇ 役員改選 ◇

第23回通常総会にて、定款第16条が「役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。」と変更されたことにより、今年度は任期満了に伴う役員の変更はなく、継続するものですが、2名の役員から退任の意向が示されていることに伴い、後継の新任理事を1名補選するものです。なお、役員定数は、理事は10人以上17人以内、監事は1人以上2人以内となっています。

1. 役員補選の経緯

「役員選任規定(KTS規定第1号)」にもとづき、選考委員会(5月度理事会にて代行)を開催し、次のとおり検討しました。

2. 役員補選候補の推薦

〔敬称は省略〕

(新任理事)1人 徳永 和敏
(退任理事)2人 手島 邦彦
寺山 雅也

この結果、補選後の理事は16人、監事は2人となります。

以上について審議した結果、了承・可決されました。



第24回通常総会議案審議風景

九州経済産業局 地域経済部 部長 楠木 真次



本日は特別講演会にお招きいただきありがとうございます。
北九州テクノサポートの皆様の地域産業への成長ご貢献に深く敬意を表します。

中東情勢初め不確実性が継続し原材料価格高騰や安定調達への懸念が生じるなど厳しい状況を迎える中、当局では専用窓口を設け他省庁との連携で関連事業者へ供給要請を行うなど、目詰まり対策に力を注いでいます。
燃料油や石油由来の化学品等の供給にお困りの事業者様は当局HPより情報提供ください。

中小企業経営での構造的課題への対処として経済産業省では中堅・中小企業の稼ぐ力強化戦略を策定しており、①価格転嫁・取引適正化の徹底、②成長投資や省力化・生産性向上支援、③事業継承・M&Aによる事業再編着実を実行しながら企業の稼ぐ力の強化と質上げの好循環を目指しています。

ここで肝となるのは2番目に申し上げた企業の成長投資や生産性向上です。成長余地の大きい中小企業に対し、AIの活用による抜本的な経営改革の実現の様々な支援策を講じてまいります。

当局としては北九州テクノサポートの皆様やここにご参加の関係者の皆様と手を携えながら、北九州地域の企業競争力の強化に努めてまいります。

昨日(6月15日)、北九州市長のリーダーシップの下、フィジカルAI産業振興戦略検討会議が開催され、私も委員として経済産業省主導で進めているAIロボティクス戦略などについてお話をさせていただきました。フィジカルAI共生都市を宣言された北九州市は我が国における最も先進的かつ挑戦的な都市の一つであり、当局としても北九州市とこれまで以上に緊密に連携し、我が国の構造課題を解決するフィジカルAIの実装などに取り組んでまいります。

結びとなりますが北九州テクノサポートの益々のご活躍と、会員の皆様方、本日も来場の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。

2025年度各支援グループ活動実績

◇ 技術・環境経営ものづくり支援Gr. ◇

1. 技術経営支援活動

- 1) 地域の産学官連携を活用した企業課題の解決に向けた企業支援活動の促進として、K社「ロボット化FS」後のテスト段階に移行し、データ採取のできるシステム構築を行い、プレス作業の自動化につながる実績データの採取システムを構築しAI化・自動化に向けた次年度の活動を企画した。
 - 2) KTSの他活動と連携し、企業課題の把握とコンタクトを進め課題抽出の体制強化として、インターンシップ・ビジネスマッチング活動に参加した。
 - ①3月～5月のインターンシップ幹旋活動に参加し企業訪問を実施。
 - ②7月3日～5日の北九州コンベンション協会主催の中小企業テクノフェア・製造技術イノベーション展で企業とのコンタクト・課題調査を進めた。
 - 3) よろず相談対応力強化・様々なニーズに対応できる体制構築と親身なサポートの実施として、様々なニーズに対応できる体制の構築と親身なサポートを行う方針のもと、5件の多様な相談があり個々の相談に応じて適切に対応した。
 - 4) 省エネ診断の促進(SII省エネ診断の利用を地場企業へ働き掛け)として、2年目のSII省エネ診断の受託により6件の診断を実施した。25件を目標としたが、掘り起しに苦戦し、実施期間は長くなったが、昨年度並みの実績となった。
 - 5) P社の事業の基盤強化への協力として、革新的ヒートパイプ技術を有するP社の商品展開先について、省エネニーズの掘起し等から始め、PR資料作成・地場のユーザ企業の紹介を通じて事業拡大への支援は、今期はPRにこどまった。
 - 6) プラスチック油化の技術を有するE社の事業拡大への支援として、本技術を活かしたいという若手の企業家が出てきたので、紹介を行った。
2. KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR
- 1) グループメンバーのキャリアと資格等のリスト化、活躍の場探し、は停滞した。
 - 2) 技術研修会等の企画(2回/年程度): 地場企業からのニーズとFAIS等のシーズのマッチングを目指した研修会の開催として、企業とのプロジェクト実践の中で経験を積むことが出来た。(プロジェクト対応者) 今期は個人がFAIS等主催のセミナー等に参加(DXコンソーシアムのセミナー等)
3. 補助金活用や販売ルート開拓等の経営力向上支援
- 1) 中小企業向け(技術関係の)各種補助金獲得支援の推進は、ものづくり補助金・省エネ補助金などを紹介した。
 - 2) 省エネ関係補助金の情報収集と地場企業へのPRは、SIIからのクイック省エネ診断6件の対応を行った。
4. 公的機関からの仕事の受託促進
- 1) 公的機関からの委託事業の委託は、SII以外の新規開拓はできなかった。

2025年度各支援グループ活動実績

◇ 産学官連携人材育成支援Gr. ◇

1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

1) 研修型(短期)インターンシップ

地域のものづくり企業140社に対してKTSのコーディネーター15名が手分けして企業訪問による打合せによって、受入れ登録企業80社を目指したが、59社の登録に留まった。併せて、北九州市立大学国際環境工学部1・2年生と産業医科大学産業衛生科学科2年生のインターンシップ受入企業の誘致を行った。

2) 実践型(長期)インターンシップ

地域のものづくり企業140社に対してKTSのコーディネーター15名が手分けして受入れ登録企業15社を目指したが、6社の登録に留まった。

2. 「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業

5月からの業務開始計画で「北九州市風力発電人材育成連絡会」を構成する企業7社の内、石橋製作所、ニッスイマリン工業、日本鉄塔工業の3社と教育機関12校との個別意見交換打合せをはじめ、教育機関への企業説明会、工場見学、インターンシップを通じて、学生が風力発電について「見る」「触れる」「考える」機会を提供する業務支援によって関連企業への関心を高め、就職を後押しした。

3. 「SDGs勉強会」の開催

住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへ参画しており、会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催する計画であったが、実施できなかった。

◇ ISO・EA21 支援Gr. ◇

1. 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化

理事会、EA21の活動、ISO-EA21支援Gr.研修会及びEA21勉強会(主催: 地域事務局環境未来)において、KTSの省エネ診断業務に参加及び診断先開拓支援など行い、各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携を深め、EA21認証取得事業者の経営改善の支援を行った。

2. EA21認証取得事業者数の拡大

課題解決EXPO2025のエコテクノ2025でエコアクション21に係る説明を行った。また、EA21導入セミナー及びIP、GP、AP認証取得支援講座に講師を派遣した。将来的にEA21認証・審査の登録事業者数 計500社を目指しているが、2025年度目標の340件に比べて2025年度末の登録数は331件となった。なお、2025年度の新規登録数は12件、取り下げ数は9件であった。

3. ISO認証維持・新規取得支援

ISO内部監査員の養成依頼があれば、グループ会員が協力するなどISO、EA21の認証取得及び維持を主とした事業者の支援とともに、CO₂排出量の削減を目指した活動支援を行った。

NP0-KTS法人会員の広報コーナー(No.1~2)



TAIKO
refractories CO., LTD.
大光炉材株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631 FAX: 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



ISO 13485 認証取得



本社における頸椎装具等の医療機器適用



義肢/装具/車いす/福祉用具/リハビリ機器

株式会社 有蘭製作所
代表取締役 有蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>

西日本工業大学 学長 鶴田 隆治



この度、第24回通常総会に併せて開催されました特別講演会にお招きいただき、ご挨拶の機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、北九州テクノサポート通信の新春放談にもご紹介させて頂きましたが、西日本工業大学では、5か年中期計画におきまして「地域から必要とされる大学を目指す」を掲げ、教育・研究活動を推進しております。特に教育面では、地域に貢献する工学系人材の育成を目指し、生成AIも活用しながら主体的に学ぶ力を育む教育に力を入れています。

一方で、18歳人口減少の影響により、私立大学を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような中、地域の高校生から選ばれる大学となるため、高大連携・接続事業を通じて大学の魅力や工学教育の意義を伝え、地元高校からの進学率向上に取り組んでいます。

また、地域で学んだ若者が地域企業で活躍し、その経験を次世代へつないでいく人材の循環を生み出すことも、地域に根ざした大学の重要な使命であると考えています。

ここで重要なのが大学から地域の産業界への接続法と考え、地域企業でのインターンシップに加え、内定で終わりではなく、内定後の企業先での研修を大学の教育プログラムとして取り入れる試みも進めています。実務経験を有する教員が約4割を占める本学の特色を活かし、産業界と連携した、より実践的な教育を図りたいと考えております。

今後も、高校と大学、そして産業界をつなぐ「高大連携」による人材育成を通じて、ものづくりの街・北九州のさらなる発展に貢献してまいりますので、引き続き、北九州テクノサポートの皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年度各支援グループ活動実績

◇ ISO・EA21 支援Gr. ◇(続き)

4. グループ会員の相互研鑽（審査・コンサルティング技術の向上）

一昨年度末から再開したグループ研修会（Web開催）を6回実施した。来年度もISOとEA21の関係が深いISO規格・項目、カーボンニュートラルに向けてSBT認定などの勉強会6回／年（奇数月）の開催を目標としている。また、グループ会員の協力により関連法規など見直した「EA21事例集」の改訂版を発行した。

5. 「エコアクション21だより（KTS通信瓦版）」の発行

EA21認知度向上と普及を目指し、登録企業の活動を紹介する「エコアクション21だより（KTS通信瓦版）」第20号を2025年7月1日に発行した。なお、PDF版を地域事務局環境未来の審査対象全事業所に送付した。

◇ IT活用支援Gr. ◇

1. NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立

広報・デザイン支援 Gr.の協力を得て、KTS通信、EA21地域事務局の情報、賛助会員企業の紹介などの更新・維持をルーティンとして実施した。

2. 中小企業のIT活用支援

技術・環境経営ものづくり支援Gr.の紹介により、北九州市都市整備局公園管理課より「公園愛護会アンケート分析調査業務」を受託し、分析業務を支援した。

3. 「第4次産業革命」勉強会の開催

近年の生成AIの活用の広がりやフィジカルAIの実用化の動き等、新しい流れを掴み、中小企業支援やNPO業務効率化に生かすべく、計2回の勉強会を実施した。

4. テレワーク環境構築による業務効率化

2025年度各支援グループ活動実績

◇ IT活用支援Gr. ◇(続き)

1) テレワーク環境整備に導入したITツールの展開

運用通のMS Teamsの使い方を再勉強し、会議の効率アップを実施した。

2) Python・VBAプログラミングによる業務自動化、

NPO-KTS内の繰り返し業務の効率化として開発したプログラムの他社利用への展開を進めている。

◇ 販路開拓ビジネス支援Gr. ◇

1. 課題解決EXPO 2025のビジネスマッチング(BM)支援事業

2025年7月2日～3日開催のBM支援事業を受託し、2025年1月からコーディネーター15名で活動を開始。BM支援対象の企業は180社になり、出展企業のシーズを踏まえ地元企業349社へ紹介した。会場への来訪橋渡し・搭合せにより683件のBM支援を実施した結果、商談件数26件、商談額7,246万円の成果を得た。

2. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

北九州商工会議所の会員企業への技術指導、EA21登録等の支援活動を展開した。

◇ 広報・デザイン支援Gr. ◇

1. KTS広報事業

- 1) KTS通信発行による情報提供・PRとして、Vol.45(2025年夏号)及びVol.46(2026年冬号)新年特集号を発行し、冊子及びPDF版配信広告掲載による支援を行った。
- 2) KTS事業紹介媒体更新(課題解決EXPO2025会場用等)として、KTS事業や会員紹介等の媒体を更新した。(販路開拓支援Gr.協働)
- 3) KTSホームページの更新(IT活用支援Gr.との協働)として、Vol.45、Vol.46のHP掲載並びに会員広告のトップページ及び会員企業別ページへの掲載を行った。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.3～6)

蛍光灯生産終了
LEDの更新はお任せください



熱中症対策
空調機の更新はお任せください



KOSEI JAPAN

限りある資源を未来に 地球環境に貢献!



株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都郡河内町港町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141
<https://www.kosei-japan.com>



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<https://www.chigusa.co.jp>

フォーラムを活用して
インターンシップをやってみませんか?

産業人材育成フォーラムは、KTS・北九州の工学系大学と連携し、人材育成のためのインターンシップに取り組んでいます



北九州地域産業人材育成フォーラム
(公益財団法人 北九州活性化協議会)

詳しくはコチラ

駅から7分、
海見える会議室

北九州国際会議場



公益 北九州観光コンベンション協会 Kitakyushu Convention & Visitors Association <https://hello-kitakyushu.or.jp>

ご予約・お問い合わせ 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-9-30 TEL093-541-5931



（公財）北九州活性化協議会 専務理事 森脇 喜一



NPO法人北九州テクノサポート(KTS)の皆様には、地域企業への技術支援をはじめ、洋上風力発電の人材育成やインターンシップ受入企業の開拓など、私どもKPECの主要事業にご協力頂き、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

貴法人は、1995年7月に発足した任意団体テクノサポート会に始まると伺っております。当時、北九州市の再生を目指した「ルネサンス構想」が盛んに進められましたが、その後30年、北九州市の人口は102万人から90万人を割り込むまでに減少し、福岡市との格差が広がっています。

しかし、「ものづくり」に視点を移すと、製造業生産額は福岡市の4倍を超え、世界経済の強風を受けながらも、素材価格の変動に耐えられるタフな産業構造へと変化しています。

しかも、北九州の「ものづくり」ポリシーは、韓国など近隣諸国の課題解決にも貢献してきました。韓国での技術指導に奔走したOB技術者の方々が、今の私と同年代であったことを思うと、その情熱とバイタリティーに頭が下がる思いです。今では韓国企業の技術力が飛躍的に向上し、中国企業もまた成長を遂げており、北九州の製造業は更なる変革の時を迎えています。

製造プロセスの脱炭素化や労働生産性の向上など、北九州の「ものづくり」を、次世代を支える高付加価値産業に成長させるためにも、OB技術者の豊富な「現場力」とノウハウが欠かせない状況になっています。

こうしたなかで、貴法人の役割に期待が高まっておりますが、今後とも私共KPECの取り組みにもご支援・ご協力賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴法人の益々のご発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

2025年度各支援グループ活動実績

エコアクション21地域事務局環境未来 2025年度活動実績

(1) **エコアクション21導入セミナー**：6月25日にZoomリモート形式の導入セミナーを開催。山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県(北九州地域、飯塚地域、行橋地域)の事業者を対象に、新規認証・登録事業者の拡大を目指しました。

(2) **アフターフォローアップセミナー**：10月15日に既存の認証・登録事業者向けにアフターフォローアップセミナーをリモート開催。講師役のエコアクション21審査員である佐藤審査員・蔵元審査員からは、活動上ありがちな困ったことへの対処法説明や「気づき」のための模擬審査案件を通じたディスカッションが行われました。



北九州市IP実践講座

その後、推奨された2社が自社の取組や好事例を発表しました。参加者からは好評で、今後の活動促進に繋がるものと期待しています。

(3) **北九州市長感謝状授与**：14年目を迎えた北九州市長感謝状授与制度では、環境に配慮した取り組みを行った「白石鉄工(株)」、「社会福祉法人北九州手をつなぐ育成会」、「(株)九州発条」、「岡野バルブ製造(株)」の4社に感謝状と記念品が授与されました。

(4) **認証・登録事業者数の拡大**：現在、全国で約7,540社がエコアクション21に認証・登録され、当地域事務局では約333社を担当しています。温室効果ガスの削減や環境活動に積極的に取り組む企業が増加することが、地球環境保全にとって重要であり、今後さらに多くの企業がエコアクション21を導入することを期待しています。

★KTS会員情報交換会★

2018年2月の初会合以降、会員の活躍の場の提供、事業活動の活性化を目的として、これまでロボット化や省エネ診断の事例共有や意見交換等を実施したが、諸事情より活発な活動が継続できていない。今後は、8月、2月に開催することとし、各グループの活動や技術の紹介などで交流を深め、目的の達成を図る。会員の皆様による運営サポートを含む積極的な参加を期待したい。

★第4次産業革命勉強会★

2022年11月に登場した生成AIは、人間が発するデータを含めて処理することから、サイバーフィジカルシステム(CPS)の輪に人間が直接入り込むことを可能とし、種々の分野でAI活用が急速に広がり、2025年は人間の業務をAIが代行するAIエージェント元年、2026年はロボットとAIによるヒューマノイド元年と言われる状態に至っている。中小企業支援やNPOの業務効率化の観点から我々もこの新しい流れを勉強している。

★ISO・EA21グループ研修会★

本勉強会では、グループ員の力量向上を目指してISO・EA21の認証取得・継続支援に関する課題・解決策の検討、環境経営・サステナビリティ経営を実践する企業の環境づくりを支援する情報・知識の取得、SDGsに係る情報やSBT認証などカーボンニュートラルの取り組みなど、中小企業に役立つ知識や事例を学び、企業支援に反映している。

年6回(奇数月)開催で計画しており、2026.5.30に第14回を実施、更に7.15に第15回の開催を予定している。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.7~10)

インバウンドのお悩みを手軽に解決！

多言語翻訳放送装置

QuaVoice

「話した言葉がすぐ翻訳できる
放送装置があったらいいな」を実現！

☑ フレキシブルな翻訳機能

☑ 汎用性の高い放送機能

New! ニュースリアルタイムエンジンを搭載
紹介動画もリニューアル「北九州発」新商品創出事業
認定商品に選ばれました！株式会社 **カンノ製作所**[本 社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上高野1-5-25
TEL (093) 521-9531 FAX (093) 511-6470

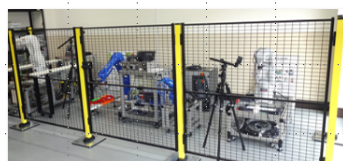
九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号

取扱製品

分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・フックボルト・ケミカルアンカー
トンネル用H型支保工・鉄道車両部品
道路照明灯・タイプレート・記念品事業

お掃除ロボット・配送ロボット始めました！



産業用ロボット安全特別教育実施中!!

STC 有限会社 ICS SAKABE

〒802-0062 福岡県北九州市小倉北区片野新町2-2-21
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
URL : <http://www.icssakabe.com>

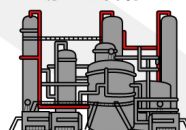
株式会社 新大倉

Engineering, Procurement and Construction

新大倉

検索

工場がお客様です



その工場の

Engineering
設計Procurement
調達Construction
工事

が仕事です

演題：「北九州市の未来産業振興の取組みについて」

講演者：北九州市産業経済局未来産業推進部長 森永 康裕 様

1. 産業経済局における未来産業推進部の役割と基本戦略



北九州市産業経済局未来産業推進部では、次世代の経済を担う成長産業（未来産業）の育成を推進しています。新たなプレイヤーの創出はもちろん、長年培われた卓越した技術力を武器に、半導体、宇宙、ロボティクスといった成長分野への進出を目指す地元企業の挑戦を、強力にバックアップしてまいります。

本市の最上位計画である「北九州市基本構想・基本計画（新ビジョン）」では、「経済成長」を最優先課題に掲げ、市内総生産

4兆円の達成による「稼げる街」の実現を目標としています。これを受け、産業経済局では「北九州市産業振興未来戦略」を策定いたしました。「世界を先導するグリーン・テクノロジー都市」というスローガンのもと、学術研究都市が有する「知」の活用とGX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進を柱に、未来産業の創出・育成に取り組んでいます。

2. 北九州学術研究都市における「知」の活用と産業創出

「北九州学術研究都市」は、4つの理工系大学・研究機関が連携する全国でも希少な拠点です。約2,600名の学生と約170名の教員が在籍し、半導体やAI、ロボティクスなど、次世代産業の核となる先端技術の研究に励んでいます。公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）の支援を通じた産学連携活動も実を結び、地元企業との共同開発による新製品の累計売上は200億円を突破しました。今後も、激変するビジネス環境に対応できるよう、地元企業のイノベーション創出を力強くバックアップしてまいります。

3. ロボット・DXの推進と先端技術の社会実装

深刻化する地元企業の人手不足に対応するため、令和4年に開設した「北九州ロボット・DX推進センター」は、FAISによるワンストップ支援のもと、市内中小企業のDXを強力に加速させています。当センターを核とした北九州市のDX推進の取り組みは、国の「デジタル田園都市甲子園」において、内閣総理大臣賞を受賞し、全国の中小企業支援の優良モデルとして高い評価をいただきました。また、支援を受けた企業が国の「DXセレクション」に毎年のように選出されるなど着実な成果を上げており、令和8年には北九州市の事業者が、初めて、グランプリを受賞するに至りました。

4. 学術研究都市の新たな成長戦略「G-CITY戦略」の展開

令和7年2月、北九州市は、学術研究都市の未来を切り拓く「G-CITY戦略」を始動させました。現在、第二期エリアではAIデータセンターや蓄電池、AI、ロボティクスの研究開発拠点の整備など、大規模な投資と開発が進んでいます。

「G-CITY戦略」では、大学や研究機関が集積する第一期エリアと第二期エリアに集積が進む先端産業が融合し、新たなイノベーションが連続して生まれる街を目指しています。



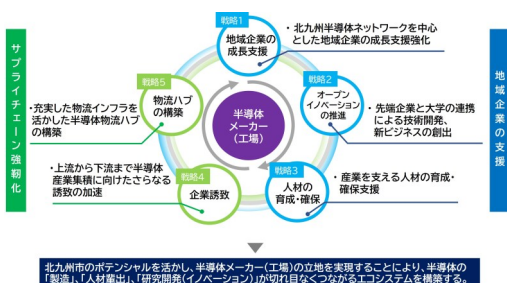
(図2) G-CITY戦略

この「G-CITY」の「G」は、GREEN（グリーントランスフォーメーション）、GLOBAL（世界）、GRID（つながる）、GAKKEN（学研）からとりました。「稼げる・繋がる・集まる・魅力あふれる・世界を巻き込む」の5方針を掲げ、台湾の新竹サイエンスパークからTSMCが産まれたように、学術研究都市からも世界を驚かせるイノベーションを産み出していきたいと思えます。

5. 未来産業を牽引する五つの重点テーマと今後の展望

国の動向や北九州市の強みを踏まえ、次の5つの重点分野を設定し、戦略的な未来産業振興を図っています。

① 半導体：市内に広がる約100社のサプライチェーン企業、学術研究都市の研究力や豊富な理工系人材、安定したインフラを強みに、「北九州半導体ネットワーク」を構築。新規参入の促進とともに、台湾等へのトップセールスを積極的に展開しています。



(図3) 北九州市半導体戦略

② フィジカルAI：現実の現場とAIを融合させ、人手不足解消や生産性向上を実現するため、令和8年5月に「フィジカルAI共生都市」を宣言しました。安川電機をはじめとするロボット産業の集積やものづくりの現場が有する熟練技術を活かし、実証フィールドを提供する「サンドボックス」事業や、熟練技能の継承プロジェクトを推進することとしています。

「北九州市フィジカルAI共生都市」宣言

北九州市は、
フィジカルAIの社会実装を通じて、
日本の産業競争力の強化と市民生活の質の向上を
同時に実現し、
世界に誇る「フィジカルAI共生都市」
を目指していきます。

(図4) 北九州市フィジカルAI共生都市宣言

③ 宇宙産業：九州工業大学の超小型衛星運用数世界一の実績やものづくりの街としての基盤を強みに、北九州市において宇宙産業の振興を図るため、自治体初の「宇宙産業推進室」を設置しました。宇宙産業振興の取組みを始めてまだ3年ですが、スタートアップ2社が設立、また、衛星部品のサプライチェーンに参入する企業が出てくるなど、着実に成果を上げています。

④ GX：政府が掲げる2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、今後見込まれる150兆円を超える官民投資を呼び込むため、令和5年に北九州市の産学官金からなる「GX推進コンソーシアム」を核に、市内企業の二酸化炭素排出量「見える化」支援や、響灘地区の再エネ・グリーンエネルギーを活用した産業集積を強力に推進しています。

⑤ スタートアップ：国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の指定を受け、資金調達支援や既存企業との共同事業（オープンイノベーション）を促進しています。ディーテック系を中心に多くのスタートアップが生まれ、最近、上場を達成したスタートアップも誕生しました。

おわりに

北九州市には、官営八幡製鉄所の開設以来、長年培われてきた「ものづくりの伝統」と、学術研究都市を中心とした「知的基盤」という大きな強みがあります。社会経済情勢が激しく変化する現代において、これらの強みを最大限に活かすためには、産学官がこれまで以上に一丸となることが不可欠です。北九州市が「課題解決先進都市」から、先端技術の社会実装を通じて世界を牽引する「課題解決先進都市」へと進化を遂げるため、地域の皆様と緊密に連携し、未来産業の創出に向けて、全力で取り組んでまいります。

NP0-KTS法人会員様の広報コーナー(No.11~12)

北九州から全国へ「気象」と「ものづくり」で現場の安全を支える

気象総合プラットフォーム ZEROSAI X-AI
NETIS:登録申請中

気象総合プラットフォーム 羅針盤 PLUS
NETIS:QSK-210001-VE

小型波高観測装置 デジアアゲ
NETIS:QSK-170002-VE

気象庁予報業務許可 第51号
システム 株式会社 信託

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力町2-8-11
TEL: 093-965-1033 FAX: 093-965-1055

■気象の総合コンサルティング
■気象海象予測・予測情報提供
■気象観測機器レンタル

独自の技術力で豊かな未来を創造します。

sokken 株式会社 測研

【総合気象観測】 【波浪調査:海底設置型波浪計】 【自社開発:潮位観測システム】

気象・海洋・河川調査解析/港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川2丁目4番5号 TEL:093-883-1511
http://www.sokken.com

2026年度事業計画

■組織

活動組織は、6支援グループ及びEA21地域事務局の体制とし、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、活性化を進める。

■運営方針

本年度は、既存受託事業の新事態への適応力を関係機関と連携して確立する。次に、企業が置かれている困難な状況に公的施策と連携して地域企業への応援に力を入れ、収益力強化のため新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の支援を進める。

KTS事業を支える人材の入会促進と急速に変化する社会・経済環境に対応するための会員自身のリスキリング及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大いに活用した勉強会・研究会の充実と相互連絡会を開催し会員の力を結集するとともに、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を整え積極的に推進する。

■実施計画

1. 技術・環境経営ものづくり支援 Gr.

- (1) 技術支援活動
 - 1) 地場の産・学・官連携を活用した企業課題の解決に向けた支援活動の促進
 - 2) KTS他活動と連携、企業課題の把握とコンタクトによる課題抽出体制強化
 - 3) よろず相談の対応力の強化
- (2) KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR
 - 1) グループメンバーのキャリアと資格などのリスト化と、活躍の場の模索
 - 2) 技術研修会等の企画(2回/年程度)
- (3) 補助金等を活用した中小企業の技術力向上支援
 - 1) 中小企業向け(技術関係の)各種補助金獲得の支援の推進
- (4) 公的機関からの仕事の受託促進
 - 1) 公的機関(国・県・市)からの委託事業の開拓
 - 2) 既存関係先との連携強化

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
 - 1) 研修型(短期)インターンシップ
 - 2) 実践型(長期)インターンシップ
- (2) 「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業

3. ISO・EA21 支援 Gr.

- (1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
- (2) EA21認証取得事業者数の拡大
- (3) ISO認証維持・新規取得支援
- (4) グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング技術の向上)
- (5) 「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の発行

4. IT活用支援 Gr.

- (1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
- (2) 中小企業のIT活用支援
- (3) 「第4次産業革命」勉強会の開催
- (4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援
 - 1) テレワーク環境整備に導入したITツールの展開
 - 2) Python・VBAプログラミングによる業務自動化

5. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

- (1) 課題解決EXPO 2026のビジネスマッチング(BM)支援事業
- (2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

6. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1) KTS広報事業
- (2) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
- (3) KTS広報事業関連情報管理
- (4) KTS創立記念誌事業

KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@npo-kts.org までどうぞ！

NP0-KTS法人会員様の広報コーナー(No.13~18)

プラスチック 金型 製品用 設計・製造

『品質:良い』『納期:早い』『価格:安い』

◆自動車部品
◆医療機器
◆光学機器
◆家電製品 ほか

西日本精機株式会社

〒808-0109 北九州市若松区南二島2丁目25-13

TEL: 093-701-2395 FAX: 093-701-2509

URL: <https://www.nishinihonseiki.co.jp/>



株式会社アンクル

@UNCLE

地方自治体システム開発・販売／会計システム販売
その他システム開発／コンピュータ関連機器販売

本社 福岡県京都市都府田町京町一丁目11番地5
開発センター 福岡県京都市都府田町港町4番5号
TEL 093-436-5788 FAX 093-436-5789
熊本営業所 熊本市中央区水前寺公園28番36号
TEL 096-288-0035

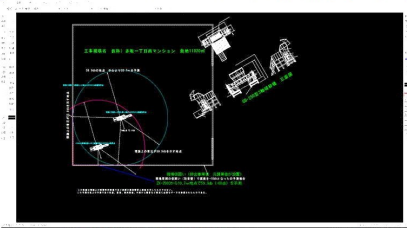
URL <http://www.e-uncle.co.jp/>

技術力と応用力で、産業を支える
モーターメンテナンスのプロ集団

株式会社 野村工電社

〒755-0065
山口県宇部市浜町2丁目3番19-1号
TEL: 0836-31-0601

株式会社プロサービスは
許認可とエコアクション21の
serviceを提供する専門事務所です



TEL 092-410-8275 <https://ea21-pro-srv.com>

KMs 株式会社 松永製作所
Matsunaga Seisakusyo Co., Ltd.

すべてはお客様のために！

〒825-0004 福岡県田川市夏吉 837-7
TEL 0947-85-8567
TEL 0947-42-8448
E-mail info@kms-unm.com
URL <https://www.matsunaga-333.com/>

通信・音響機器等 開発・設計・製造
鳥獣被害対策製品 開発・製造・販売
無電極ランプ用インバーター 開発・製造・販売

随時受付

会員募集

☆ 第一線をリタイアされた皆様 ☆

あなたの経験や知識・技術、人脈を生かしませんか！

☆ 北部九州、山口地域の企業様 ☆

経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか！

NPO法人
北九州テクノサポート

TEL 093-873-1453
e-mail Info@npo-kts.org

1.エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プログラム、福岡ひびき信用金庫のアクセラレーションプログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。

2.自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム、アクセラレーションプログラム開催

認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。

3.認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催する。

4.認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催する。

5.エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

広島、山口、福岡、大分、佐賀の各県のEA21審査員を対象に「力量向上研修会」を開催する。

6.永年継続認証・登録事業者に感謝状授与

永年エコアクション21に取り組まれた事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与する。

7.北九州市長感謝状授与と制度の対象事業者の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申する。

8.当地域事務局環境未来での認証・登録事業者(約333社)

地球環境保全のためには 中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となっています。1社でも多くエコアクション21の認証を取得されますよう働きかけてまいります。

2026年度主要事業活動開始状況

★2026年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

—— 北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働 ——

地域連携型インターンシップの受入登録企業は、昨年度に比較して研修型が7社減の53社、その中で低学年受入企業が2社減の39社で、実践型は変化なしの6社である。2023年度のインターンシップと採用の関係見直し以降、学部3年生や修士1年生が就職先の首都圏や関西圏の企業でのインターンシップに向かうため、地元企業にとって学生との出会いが減少している。大学側も地元企業と学生との出会いを増やすため、学部1、2年生の低学年時に地元企業でのインターンシップを単位化する傾向にある。北九大は昨年度から導入し、選択する学生が今年度は1.5倍の120名まで増加しており、九工大戸畑では、来年度から導入予定である。従って、年度の低学年受入企業を増やしておくことが必要であったが、減少に転じた原因を解明して、来年度に向けて今から対策することが必須の課題である。

★2026年度展示会ビジネスマッチング(BM)活動

—— (公財)北九州観光コンベンション協会との協働 ——

(公財)北九州観光コンベンション協会(KCV)主催の「課題解決EXPO2026」が7月8日～10日(3日間)、北九州メッセ(旧西日本総合展示場)にて開催され、出展社250社以上、来場者数18,000人が予想されている。

今年は、従来の中小企業テクノフェアin九州2026、西日本製造技術イノベーション2026、西日本DX推進フェア2026に加えエコテクノ2026が加わり、経営改善・経営強化に関するセミナーやイベントも予定されている。当法人は、地場の中小企業様が抱える課題や問題を解決するために、出展企業やソリューションを紹介し、商談へとつなげる支援活動(ビジネスマッチング:BM)を行う。多くの来場者への会場案内、出展社や商品のご紹介、商談が進み、大きな成果につながることを期待している。

NP0-KTS法人会員様の広報コーナー(No.19～24)

ガラスレンズ金型 (超硬合金製)



自動車の自動運転技術に必要なカメラやセンサーに使用されるレンズを製造するには弊社の『超精密加工技術』が必要です。1/1000mm以下

サブミクロン形状精度

株式会社ワークス

TEL 811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL : 093-291-1778 FAX : 093-291-2728

ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS-POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL : 092-928-3733(代) FAX : 092-928-5430(代)
e-mail : info@toyo-kenma.co.jp
HP : https://www.toyo-kenma.co.jp/

Matsushima

Matsushima Measure Tech



「現場の見える化」を実現する

電波式レベル計 ガストモニタ エアガストモニタ

株式会社 マツシマ メジャテック

TEL 807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

お問合せはコチラ

マツシマメジャテック

三栄機工株式会社

福岡県知事許可(般-6) 第99106

Designed for Today. Engineered for Tomorrow.

“いつか”をかたちにするために・・・

〒800-0302 福岡県京都郡苅田町若久町3丁目22-5
TEL : 093-434-2737 FAX : 093-434-2738
https://www.sanei-kikou.co.jp/

計測検査株式会社

まもる人を育て、安心安全を守り続けます

トンネル点検車両 MIMM

すべてをつなぐ “DiGica”

見える化・視える化
診える化・観える化

AI

IRIS-M

DiGica®

見えないものを見るように

MATRICE300,350 RTK
(九電ドローンサービス取扱い可能)

北九州市八幡西区陣原1丁目8-3
TEL : 093-642-8231

天

PR LIGHT

フロライト株式会社

プラズマランプ
検査・撮影用照明

PR FANS

シーリングファン
工場・倉庫の熱中症対策

地

株式会社松永製作所

2026年4月に法人会員として新規に入会された同社を5月26日に訪問し、松永社長及び松永主任に同社の現状と今後の取組についてお話を伺いました。(荒巻・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は、1973年(昭和48年)に現所在地において創業し、音響・通信関連ユニットやチップ抵抗製造を手掛け、1988年に第一工場、1990年に第二工場社屋を落成し、順次、電気メーカーの受託製造や、音響・OA・通信関係の製品ラインアップの充実化を図り、幅ひろく多様化するニーズへ応えて業容を拡大し、2007年(平成19年)6月に株式会社松永製作所として新発足した。以降、生産設備拡充を行い、徹底した品質管理によるラインシステムを整え、広範囲な顧客ニーズに応えることができる受注システム、サポート体制を整えた。新たな事業としては、2011年から特殊LED照明生産を開始、無電極ランプ(エコ太郎のインバーター委託開発・製造)や、2020年から鳥獣撃退開発設計をはじめ、里山のボイス・ボスを製品化して全国各地での実機設置・利活用を進めてきた。2023年には創立50周年を迎え、若手を含めた従業員様一同、気持ちを新たに作り組んでおられる。

■今後の展開と課題

B to B, B to Cの観点から、当社製品の認知度をあげるべく、各種展示会への積極的な参加を進める。大手電気メーカー対応実績もあり、それらを基礎として、今後、更に多様なお取引先向けの開発・試作や多品種小ロットの短納期生産体制を確立し、ニーズに応えていきたい。無電極ランプはインバーター製造を担う立場としてコスト面等の積極的な提案を進め、パートナーシップを高めたい。里山のボイス・ボスはタイプⅠとして重用されているが、さらに機能を充実化したタイプⅡ(低周波+高周波)をこの3月に製品化しており、昨今の情勢もあり、ユーザーのおかれた環境下での最適な実機投入を進め、更なる社会貢献・地域貢献を図りたい。ものづくり企業の範疇を超えて自社製品比率をあげるべく、会社環境を整え、豊かな感性を持ち、固有技術を磨き、たゆまぬ努力を惜しまず、チャレンジ精神をもって無限の可能性に挑戦していきたい。

■KTSへの期待

ビジネスマッチング、インターンシップや人材・技術交流などのご協力を頂きたい。

◇法人概要

- 所在地: 福岡県田川市大字夏吉837-7
- TEL: 0947-42-8472
- 代表者: 代表取締役社長 松永 弘文
- 設立: 1973年2月
- 資本金: 1,000万円
- 従業員数: 33名
- 事業: 大手各社電気メーカーからの受注・製造、通信機器等の開発・設計・製造、無電極ランプ用インバーターの開発・製造・販売、鳥獣被害対策(鳥獣撃退機の開発・製造・販売)

URL: <https://www.matsunaga-333.com>

計測検査株式会社

2026年6月に同社本社を訪問し、坂本代表取締役役に同社の現状と今後の取組についてお話を伺いました。(石川理事・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は、昭和49年に北九州市で非破壊検査を中心とした維持管理会社を創業。以来「まもるひとを育て、安心安全を守り続けます」という企業理念のもと、社会インフラや産業設備の維持管理を支える技術サービスを提供している。「まもるひと」の育成と技術の研鑽を重ねながら非破壊検査、各種計測、材料評価、構造解析等の技術を基盤に橋梁・トンネルなどの社会インフラ分野から発電所や工場などのプラント設備分野まで事業を拡大してきた。近年では、ドローンや3D点群計測等の先進技術も積極的に導入しお客様の維持管理業務の高度化・効率化に貢献している。また、高速走行型トンネル計測システム「MIMM(ミーム)」を活用し全国のトンネル点検業務を展開している。MIMMは、走行しながら高精度な画像撮影と形状計測を行うことができインフラ維持管理の効率化に大きく貢献している。近年、老朽化が進む社会インフラや産業設備に対し予防保全や長寿命化へのニーズは年々高まっており、こうした社会的要請に応えるため同社は現場で培った技術力と豊富な経験に加えAIやデジタル技術の活用にも取り組んでいる。検査・計測・調査・解析を一体的に提供する維持管理ソリューション企業としてお客様の安心安全を支え続けるとともに持続可能な社会づくりに貢献している。

■今後の展開と課題

維持管理分野では技術者不足や設備の老朽化への対応が大きな課題であり、これまで蓄積してきた50年以上の検査・計測技術とAI技術を融合し新たなサービス開発を進めており、現在はコンクリート構造物の変状を自動抽出するAI技術やプラント配管を画像から劣化判定するAIシステムの開発に取り組んでいる。これらの技術により点検業務の効率化や予知保全の実現を目指している。今後もMIMM、ドローン、3D点群計測、AI解析等の先進技術を活用しながら社会インフラと産業設備の維持管理を支えるトータルソリューション企業として安心安全な社会づくりへの貢献が期待される。

■KTSへの期待

KTS会員企業の皆様との交流を通じて、新たな技術や事業の可能性が生まれることを期待しています。異業種ならではの知見やネットワークを活かし、中小企業同士が協力しながら地域経済の発展と新たな価値創造につながることを願っています。

◇法人概要

- 所在地: 北九州市八幡西陣原1-8-3
- TEL: 093-641-8231
- 代表者: 代表取締役 坂本 敏弘
- 設立: 1974年11月
- 資本金: 3,000万円
- 従業員数: 134名
- 事業: 非破壊検査、材料評価、構造解析、振動測定、土木計測、環境関連計測、コンクリート構造物の健全度調査、映像機器による構造物維持管理及びコンサルタント業務、測量の技術を活用した3D点群計測等

URL: <https://www.keisokukensa.co.jp>

会員動静	NPO-KTS在籍 (2026年 7月10日現在)	
	正会員	法人会員 (賛助会員・協賛会員)
	67	23組織

＜NPO-KTS新組織体制＞

2026年7月度理事会(6/30開催)において会長以下三役が定款に則り、再任された。

会長 吉田 剛
副会長 古谷 長蔵
影山 隆雄
事務局長 堀 昭三

新理事挨拶



とくなが かずとし

徳永 和敏 都市銀行にて融資審査、監査企画(監査テーマの企画や当局対応等)業務に従事。銀行卒業後は北九州にて中小製造企業の管理部門責任者として携わり、2026年8月からEA21地域事務局に勤務しています。EA21で地場企業が地球環境保護を進めつつ経営改善に繋げることができるよう貢献したいと思います。

編集後記



今回号の巻頭写真は編集子在地近くのお祭り風景ですが、毎号、選定に悩んでいます。読者各位からのお写真投稿等も大歓迎です。誌面の更なる充実に取り組み、冊子の配布に加え、PDF版のメール配信、HP掲載や展示会でのPR活動等を通してKTSの事業情報をお届けして参りますのでご関係者様の更なるご意見・提案を賜りますようお願い申し上げます。(編集委員一同)

検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中
ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.47」

2026年7月10日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)
北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクセンタービル 806号
TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org